

「まち」が変わる!? 自治基本条例⑤

政策企画課 224-5503

関東学院大学教授・出石稔いしじみねのさんによる「自治基本条例連続講座」の内容をまとめたものです。

条例にはどういう項目が盛り込まれるのでしょうか。今まで制定されてきたものから、おおよそ次の項目に整理されます。

- ①自治の理念、②市民等の権利・責務、③議会の役割・責務、④首長・行政の役割・責務、⑤自治の原則と自治体運営・財政運営の原則、⑥市民の参加と協働の原則、⑦住民自治の仕組みとしての住民投票制度、⑧広域連携・協力、⑨自治基本条例の位置

づけ(最高規範性)、⑩自治基本条例の実効性の確保

ここは誤解しないでほしいのですが、自治基本条例の内容を決めるのは皆さんです。「知らない」と思う項目は盛り込まなければよく、「もつとここは入れなければ」と考えるなら堂々と規定すればいいわけです。そのため、条例の中身はだいたい変わってくると思います。

BOOK NAVI

不思議な丸い棚

中央図書館

222-0559

中央図書館の玄関を入ると正面に見えてくる棚を知っていますか。三百六十度全方位に向けられた、一風変わった円形の棚です。

この棚はヤングアダルトコーナーです。



ヤングアダルトとは、中高生くらいの世代の「若い大人」を表す言葉です。この棚には、純文学や詩集、青春小説やファンタ

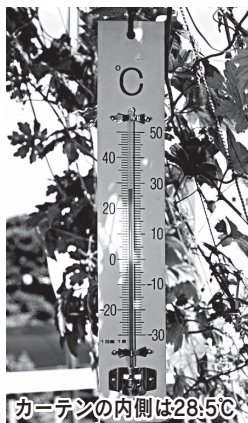
ジー小説などの読み物があります。

夏休みになると、多くの生徒がこの棚を訪れます。長い休みを使って長大な作品を読み切ろうと「ハリーポッター」や「ナルニア物語」、「ゲド戦記」などを借りる人、読みやすい本を探して星新一ほししんいちのショートショートを手取る人、読書感想文のために本を探す人などさまざまです。どの本を読めばよいか迷ったときは、色々な作者の作品を集めた本がお勧めです。「きみが見つける物語」は、あさのあつこ・森絵都もりえと・角田光代たみひろよなどの人気作家が描く十代の物語集で、人気があります。

もちろん中高生以外の方も利用できます。本の背表紙を見ながら丸い棚を一回りすると、なんだか少しだけ昔に戻ったような気持ちになる、不思議な棚でもあります。

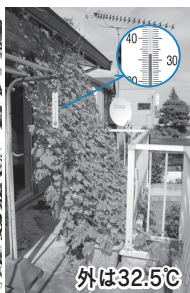
くらしの中の花と緑④

市役所前から博物館へ向かって歩くと、左側に、緑のカーテンのある家が数軒あります。今年度、市が自治会と協働で行っている「緑のカーテンモデル事業」です。カーテンの効果を検証するため、その中の一軒で温度の測定を行いました。



カーテンの内側は28.5℃

当日の天候は晴れ、微風。まずはベランダ。気温は32.5℃でした。次に、緑のカーテンの内側で測定すると、28.5℃。なんと4℃も差がありました。



外は32.5℃

緑のカーテン育ちました

環境政策課

224-5866

今度は室内。ベランダに緑のカーテンがある部屋とない部屋の温度を計りました。部屋の広さ・構造は同じです。緑のカーテンがない部屋は、30.0℃。緑のカーテンのある部屋は、28.5℃。部屋の温度上昇を抑制する効果も実証できました。測定中も、緑の葉を通り抜ける風が涼しく感じられました。

今回、協力していただいた藤崎保雄ふじさき やすおさん(郭町2丁目・64歳)は、「苗の植え付けは、指導を受けながら行ったので簡単でした。毎朝の水やりのほかは特に手間がかからないので、苦勞することはありません。予想以上に早く育って、最近は収穫したゴーヤを食べるのが楽しみです」と話してくれました。快適で美味しい、一石二鳥の緑のカーテンができました。

平成22年度に市内の小中学生から募集した作文をまとめた人権文集「あけぼの」から、作品を紹介します。

かさの中はぼつかぼか

小学四年

わたしが三年生のときのことです。下校中に雨がふっていたのでかさをさして帰りました。とても大つぶの雨だったので、周りの空気がだんだん冷えてきて、とても寒かったです。友達と、

「寒いね。」

「早く家に帰りたい。」

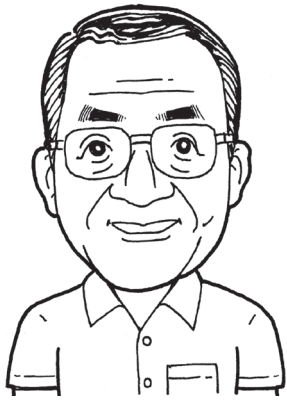
といういろいろ話しているうちに、すぐ友達の家に着きました。友達と別れてから一人で歩いていると、一年生の男の子が走ってきました。でも、一年生の男の子はかさをさしていません。自分はかさをさしているのに、

男の子はかさをさしていなかったの
で、(さむそうだな。かわいそうだな。)と思いました。

しばらくして、男の子が近くまで
来ました。わたしは思い切って、
「だいじょうぶ。ぬれちやうよ。お
うちまでいっしょに行こう。」
と言いました。すると、男の子はに

っこり笑ってうなずきました。わたしは(やった。言えた。)と心の中で思いました。そのあと、わたしのハンカチでランドセルをふいてあげて、男の子の家までいっしょに行きました。さっきまで寒かったのに、いつのまにかかさの中がとても温かくなっていました。

(つづく)



市長からの手紙

⑭観光のすすめ

3月11日の東日本大震災からすでに4か月以上たちます。川越市の友好都市・福島県棚倉町は、それほどひどい被害はなかったようです。しかし、5月下旬に副町長が川越を訪れ「原発の風評被害で、観光客が全く来なくなってしまった」と話してくれました。棚倉町には、町の第三セクターが運営する「ルネサンス棚倉」という立派なスポーツ・宿泊施設がありますが、3月・4月はすべて予約がキャンセル。夏の予約も全く入らないという状態で困っているそうです。

そこで、震災の影響で春から秋に変更していた町民市民交流ゴルフ大会を時期を早め、7月16・17日に開催。川越市民約70人と一緒に棚倉町へ行き、ゴルフや観光を楽しんできました。私は、ゴルフではなく観光をしてきました。今回見て回った棚倉城址、山本不動尊、八槻都々古別神社等は、いずれも私のお勧め観光スポットです。

千葉県香取市(旧佐原市)は、栃木県栃木市と共に毎年「小江戸サミット」を行っているなど、川越市と縁の深いまちです。こちらは、地盤の液状化による水道管などの被害、歴史的な建物や水路の被害が多く発生しました。伊能忠敬の住居なども、かなり壊れたと聞いています。

現在では香取市のインフラなども復旧し、観光客が戻ってくるのを待っているとのこと。香取市には歴史的な町並みと、その中に舟運に使われていた川の流れがあり、とてもいいところ。勝ち運の神として有名な香取神宮もあります。

川越からできるだけ多くの方が観光に行くことで、震災の被害を受けている棚倉町や香取市を応援することができます。棚倉町では「ルネサンス棚倉」でゴルフ・乗馬・テニスなどが楽しめます。また、歴史的な町並みの散策も楽しいものです。一方、香取市では水郷佐原水生植物園で300種類以上のはすを見ることができ「はす祭り」(8月14日(日)まで)や、市内を流れる小野川沿いで行われる「さわら・町並み・夕涼み」(15日(月))があります。ぜひ、皆さんで出かけてみませんか。

川越市長 川合善明